

かえでの森

第72号 2020年 3月 1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切に 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

- 1 患者様本位の医療
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します
- 2 職員の人材育成
優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を支援します
- 3 経営の安定化
病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します
- 4 地域包括ケアシステム構築への貢献
介護医療院と在宅事業部との連携を密にし、在宅医療・福祉に貢献します



小規模多機能型居宅介護事業所「マリアの家」

マリアの家 大石美幸

小規模多機能「マリアの家」を開設して、早いもので三年が経とうとしています。

地域の皆様方のご協力により、様々な地区行事にも参加させて頂き、利用者様とご家族の方には大変喜ばれています。また、最近では多くの方々が通いと泊まりを利用され、利用者様同士
の繋がりを通して、お互いを思いやりながら、一人ひとりが優しい気持ちで日々を過ごしてお
られる姿に心温まります。三年間、何事もなく穏やかに過ごすことができたのも、地域の中の
事業所として、皆様に温かく見守られているお陰だと感謝しています。

日本国内では、新型コロナウイルスの感染が拡がり、国からも新たな基本方針が出され、各地
で様々な行事やイベントが中止されています。事業所内でも感染予防に留意し、今後も利用者
様とご家族に寄り添ったサービスを提供し、地域の皆様方に親しまれる事業所となるよう、努
力していききたいと思います。



B L S訓練を行いました

介護医療院 山下美香子

1月28日に、院内でB L S（一次救命処置）訓練を行いました。

一次救命処置とは、心肺停止または呼吸停止に対する処置のことで、専門的な器具や薬品などを使う必要がない心肺蘇生のことを言います。当院では毎年全職員を対象に訓練を行っています。B L Sは、正しい知識と適切な処置の仕方さえ知っていれば、誰でも行うことができます。訓練では、院内で状態急変者を発見したという想定で行われました。

内容としては、

- ① 倒れている人の周囲の安全を確認してから近づき「大丈夫ですか？聞こえますか？」など大きな声で呼びかけ反応の有無を確認します。
- ② 反応が無ければ、他に助けを呼び院内緊急コールの要請、119番通報とA E Dの手配を指示します。
- ③ 正常な呼吸をしているか、また、脈拍が触知できるかを確認します。
- ④ 呼吸、脈拍を確認できなければ胸骨圧迫を開始します。
- ⑤ A E Dが届いたら音声ガイダンスに従い使用する。

このような流れで訓練用の人形を使って、交代で実践しました。

胸骨圧迫とA E Dの取り扱いを体験することで、心肺蘇生のイメージができ、救命処置がスムーズに行えることが研修の目的です。日常生活の中でB L Sが必要な場面に遭遇した場合には、病院職員一人一人が率先して行動できるように、今後も継続して訓練を行っていききたいと思います。



訓練の様子



御殿場看護学校基礎Ⅱ実習が始まりました

看護部長 杉山美貴子

2月21日より、御殿場看護学校の1年生5名の基礎Ⅱ実習が当院介護医療院において始まりました。看護学生さんの実習受け入れは数年前から続いており、実習に訪れた学生さんが当院に就職してくださるという、うれしい成果も出ております。

基礎Ⅰ実習で初めて患者さんを受け持ち、コミュニケーションが上手くいかずに悩んだこと。また、必要な情報をエビデンスに基づき収集すること等も、1年生の看護学生さんにはなかなか難しいようです。たくさんの不安を抱えて、緊張した面持ちで当院に訪れた学生さんには、先ずリラックスしてもらえるようにウェルカムボードを見てもらい、職員さんからのエールを読んでもらいます。そうすると、自然に笑顔となり、緊張が少し和らぐようです。

これからの12日間、基礎Ⅰ実習で達成できなかった課題を解決できるように、グループメンバー全員で協力して、良い実習となるように頑張ってくださいね。指導者はもちろん、病院職員みんなで応援しています。



職員からのウェルカムボード



復生記念館防火訓練

記念館 森下裕子

昭和24年1月26日早朝、法隆寺の金堂で火災が発生し堂内の壁画の大半が焼損したことにもとづき、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図るため、昭和30年から文化財防火デーに文化財防火訓練などが行われています。昨年はパリの世界遺産ノートルダム大聖堂や沖縄の首里城が焼失し、文化財や貴重な建物の防火対策が注目されている中、1月28日に神山復生病院の復生記念館で火災訓練が行われました。記念館北側倉庫から火災が発生したと想定し、初期消火、消防署への通報、見学者の誘導、記念館への延焼防止、逃げ遅れた人の救出の流れで訓練を行いました。水幕ホースという穴の開いたホースを使い、水のカーテンにより延焼を防ぐ訓練や、担架で人に見立てた人形を助け出す様子は訓練とはいえ緊張感をもって行われました。冷たい雨の降る中、実際に参加をした病院や記念館の職員の他にも一般の職員や地域の方も訓練の様子を見学に来てくださっていました。

総評で谷中御殿場消防署長から、御殿場市内には30の文化財の指定登録があり、それらを守り後世に伝えるために予防啓発に努めたいとお話がありました。国の登録有形文化財の復生記念館ですが、前回文化財予防デーの訓練が行われたのは、平成28年で記念館は修復中、復原が終わってから初めての訓練となりました。木造である記念館の防火対策は日頃から行っていますが、一層の防火に努めなければと改めて実感しました。



水のカーテンの準備と放水



救助者の搬送



谷中署長



訓練終了



今回のおすすめ

「九十歳。何がめでたい」

佐藤 愛子

小学館



子供の頃、おばあちゃんの家に行くと「ゆうちゃん、水ば持ってきてくれんね」の声かけに「よかよ」と返事して真っ先に向かうのは庭にある井戸、そこから水をくみ上げるのが楽しくて仕方なかった。お風呂は足で板を押さえながら入る五右衛門風呂。まきを燃やして湯加減を調整してくれるおばあちゃんに子供ながら人の温かみを感じていた。現在、物は豊かになり、人の暮らしは便利で快適になったのに、なぜ日本人の心はせわしくなったのだろう。90歳を過ぎた著者は「日本人総アホ時代」と称してユーモアたっぷりに今の世の中への思いを語られています。興味のある方はご一読ください。

(紹介者 リハビリ課 荒木勇次)

外 来 担 当 表

心療内科、緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(平田) 心療内科(飛澤)	内科(平田)	内科 (平田・江藤)	内科 (平田・江藤)	内科(江藤) 心療内科(飛澤)	内科 (第2・5 岡部) (第1・3・4 中尾) 心療内科(飛澤) 皮膚科	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	緩和ケア外来 (平田)	休 診	休 診	

※ 毎週土曜日に内科外来を行っております。皆様ご利用下さい。

皮膚科外来予定表



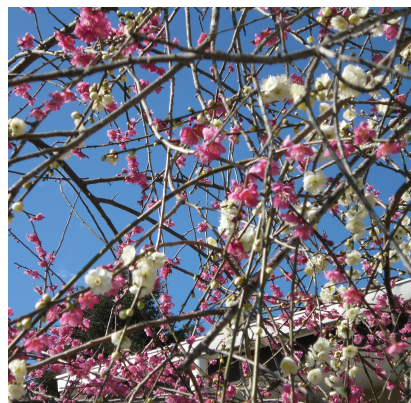
3 / 7	診察日	太田医師
3 / 14	診察日	高田医師
3 / 21	診察日	太田医師
3 / 28	診察日	石地医師

4月以降の診察は HP にてお知らせいたします。
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。



復生の梅の花

復生病院の院内には約 30 本の梅の木があります。色も品種も様々で、樹齢 50 年を超えるものの中にもあります。今年は暖冬の影響で開花も早く、すでに満開を過ぎているものもあります。今は亡き在院者さんがコツコツ植えたものも沢山あり、白やピンクや紅の梅の花が咲き病院が一気に春めいてきました。更にこれから色々な植物が花を咲かせ、院内散策も楽しい季節になります。どうぞ花粉対策をして院内をめぐってみてください。



農道入り口近くのしだれ梅

梅ではありませんが、もうすぐ記念館裏にハナニラの花が咲きます。狭いですが、草原のお花畑みたいです。覗いてみてください

編集後記



春です！！この時期は、旅立ちと新しい出逢いの時でもあります。
今年度も残りわずか、新たな気持ちで新しい年度を迎えられるように精一杯頑張ります。 次号も、お楽しみに～

